

白茎ごぼう 成長楽しみ

伝統野菜 坂井・大石小で植え

坂井市大石小学校の3年24人が、学校敷地内に児童農園の畑に同市春江の伝統野菜「越前白茎ごぼう」の種を植えた。児童

たちは主に茎を食べる野菜であることを学んだ後、種を植えて成長を願った。

4月に児童農園を整備した大石地区まちづくり協議



「越前白茎ごぼう」の種を植える児童たち＝坂井市大石小学校で

会が学校と協力して開き、協議会メンバーや市職員、生産者ら12人が児童を手伝った。児童たちは校舎内で協議会メンバーや生産者から野菜についての説明を聞いた。学校給食で出されていることやつくだ煮、肉巻きなどの食べ方を教わった後、児童農園に移動して種を植えた。

児童たちは畑の前に並び、長さ8ミリの種を手にとり、約1ミリの間隔で丁寧に植えていった。朝倉琴乃さん(9)は「根と茎が食べられることは知らなかった。大きく元気に育ってほしい」と願った。11月下旬、12月に収穫した後、調理して食べる予定をしている。

(中場賢一)